

情報公開用文書（横浜市立大学附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2021 年 1 月 5 日作成

研究課題名	脊椎変性疾患に対する病態、鑑別疾患、治療、予後の解明
研究の対象	2006 年 4 月 1 日から 2020 年 11 月 30 日までに横浜市立大学附属病院で、脊椎変性疾患と診断され、2020 年 12 月 31 日まで経過観察された方。
研究目的 ・方法	<p>【目的】脊椎変性疾患とは、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、靭帯骨化症など指し、生理的に有する解剖学的構造の変化、変性により、脊髄や神経根の圧排をきたし、脊髄症や神経根症をきたすものです。高齢化社会を迎えたわが国では、脊椎変性疾患は増加しており、「健康寿命の延伸」に支障をきたしています。本施設における病態の解明、類縁疾患の鑑別、治療および予後を明らかにし、脊椎変性疾患のより良い治療に資することを目的とします。</p> <p>【方法】日常の診療録から脊椎変性疾患の発生病態、治療内容、転帰等の情報を収集し、病態の解明、類縁疾患の鑑別、治療および予後を解析します。</p> <p>解析内容は、術後の神経機能評価、画像評価を対象とします。</p>
研究期間	西暦 2019 年 7 月 18 日 ～ 西暦 2023 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	<p>【試料】なし</p> <p>【情報】 日常診療で実施された項目を本研究に使用します。</p> <p>(a) 疾患背景： 疾患名・年齢・生活歴・既往歴・家族歴・喫煙歴・飲酒歴・発病年月・病型・臨床経過・罹患範囲・類縁疾患の鑑別</p> <p>(b) 脊椎変性疾患の治療内容：外科的治療の有無と詳細・内科的治療の有無と内容・投薬期間・服薬状況と理由</p> <p>(c) 神経機能評価： JOA スコア：日本整形外科学会が提唱している脊髄機能評価法です NCSS スコア：日本脊髄外科学会が提唱している頸椎機能評価法です Neck Disability Index (NDI)：頸椎に由来する日常生活障害の評価法です。 Oswestry Disability Index (ODI)：腰痛 疾患に対する疾患特異的評価法です Odom' s criteria：術後の改善度を表す指標です Nurick' s classification of disability：歩行など移動能力を目安にした神経機能指標です Modified McCormick Scale：脊髄腫瘍における神経機能評価で用いる指標です</p> <p>(d) 画像評価： 通常の診療範囲内で施行したデータ（確定診断および鑑別疾患の除外に用いたもの）レントゲン、CT、MRI、ミエログラフィー、椎間板造影</p>

情報公開用文書（横浜市立大学附属病院で実施する医学系研究）

(単施設研究用)

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-9

横浜市立大学附属病院 脳神経外科

(研究責任者) 村田 英俊

電話番号：045-787-2800 FAX：045-783-6121